

## Ⅱ-2 <入学試験制度> 博士前期課程：特別学内選考試験

経済学研究科、法学研究科の博士前期課程では、それぞれ特別学内選考試験を実施しています。詳細は以下の通りです。

### 1. 出願資格

#### 《経済学研究科》

本学経済学部・経営学部<sup>1</sup>に在籍している学生で、大学院に入学するにふさわしい能力と研究意欲を有する者のうち、下記の要件を満たす者。

- \* 学部での学業成績が、GPA 3.80 以上で、2020年3月に卒業見込の者。ただし、2019年9月に卒業する者については出願を許可する。

#### 《法学研究科》

本学法学部に在籍している学生で、大学院に入学するにふさわしい能力と研究意欲を有する者のうち、下記の2つの要件を共に満たす者。

- \* 3年次生に配当された演習の担当教員の推薦を受けた者。ただし、担当教員の推薦を受けることができない特段の事情があるときは、学部長の推薦を受けた者。
- \* 学部での学業成績が、GPA 4.0 以上で、または、税理士試験科目を1科目以上合格した者で、2020年3月に卒業見込の者。ただし、2019年9月に卒業する者については出願を許可する。

### 2. 日程一覧

経済学研究科 経済学専攻（経済学専修・経営学専修）			
試験日	2019年5月18日(土)	2019年9月28日(土)	2020年1月13日(月)
対象学年	4年生	4年生 早期卒業予定者(在学3年間)	4年生 早期卒業予定者(在学3年間)
出願期間	2019年4月5日(金) ～4月12日(金)	2019年8月16日(金) ～8月22日(木)	2019年11月4日(月) ～11月15日(金)
合格発表	2019年5月24日(金) 11:00	2019年10月4日(金) 11:00	2020年1月17日(金) 11:00
第1次 手続期間	2019年10月10日(木) ～10月17日(木)		2020年2月20日(木) ～2月27日(木)
第2次 手続期間	2020年2月20日(木) ～2月27日(木)		

法学研究科 法律学専攻			
試験日	2019年5月18日(土)	2019年9月28日(土)	2020年2月11日(火)
対象学年	4年生 早期卒業予定者(在学3年間)	4年生 早期卒業予定者(在学3年間)	4年生 早期卒業予定者(在学3年間)
出願期間	2019年4月5日(金) ～4月12日(金)	2019年8月16日(金) ～8月22日(木)	2019年12月11日(水) ～2020年1月8日(水)
合格発表	2019年5月24日(金) 11:00	2019年10月4日(金) 11:00	2020年2月14日(金) 11:00
第1次 手続期間	2019年10月10日(木)～10月17日(木)		2020年2月20日(木) ～2月27日(木)
第2次 手続期間	2020年2月20日(木)～2月27日(木)		

### 3. 選考試験内容

#### 《経済学研究科》

試験方法	面接（経済学または経営学に関する基礎知識を問う）
試験時間	15:00～（受験者1人につき10分程度）
選考方法	面接試験及び書類審査の結果を総合判断して合否を決定する

#### 《法学研究科》

試験方法	面接（法学または政治学に関する基礎知識を問う）
試験時間	14:30～（受験者1人につき10分程度）
選考方法	面接試験及び書類審査の結果を総合判断して合否を決定する

## Ⅱ-3 <入学試験制度> 博士前期／修士課程：一般入学試験

一般入学試験は、第Ⅰ期～第Ⅲ期にわたって実施しています。それぞれ対象が異なりますので、次頁で確認してください。

### 1. 出願資格

- (1) 大学を卒業した者、または 2019 年度卒業見込みの者（秋学期入試出願者は、2020 年 8 月末までに卒業見込みの者）。
- (2) 学校教育法第 104 条第 4 項の規定により学士の学位を授与された者。
- (3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了または 2019 年度修了見込みの者（秋学期入試出願者は、2020 年 8 月末までに修了見込みの者）。
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者。
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者。
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者。
- (7) 文部科学大臣の指定した者。
- (8) 大学に 3 年以上在学し、又は外国において学校教育における 15 年の課程を修了し、当該研究科委員会において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められた者。
- (9) 当該研究科委員会において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2020 年 3 月で 22 歳に達した者。

※(4)から(9)の資格により出願を希望する者について

- ①出願時に資格審査を行います。
- ②所定の出願書類に加えて「出願資格認定申請書」（G 票）、「出願資格認定申請理由書」（H 票）を提出して下さい。

※出願ができる外国人受験者の定義について

- ①日本国籍を有しない者であって、かつ、日本国における永住資格を有しない者。
- ②出入国管理及び難民認定法において、本学入学に支障のない在留資格を有する者。

## 2. 日程一覧

### <2020年春学期（4月）入学入試日程>

#### 【一般入学試験 春学期（4月）入学 第Ⅰ期】

対 象	・ 経済学研究科（国際ビジネス専修除く） ・ 法学研究科 ・ 文学研究科 ・ 国際平和学研究科
試 験 日	2019年9月28日(土)
出願期間	2019年8月16日(金)～8月22日(木)
合格発表	2019年10月4日(金) 11:00
第1次手続期間	2019年10月10日(木)～10月17日(木)
第2次手続期間	2020年2月20日(木)～2月27日(木)

※経済学研究科経済学専攻国際ビジネス専修は、4月入学入試を実施しておりません。

※文学研究科国際言語教育専攻英語教育専修、国際平和学研究科は、試験日1週間前までに大学より通知があった方のみ試験日に面接を実施します。

#### 【一般入学試験 春学期（4月）入学 第Ⅱ期】

対 象	文学研究科 国際言語教育専攻 英語教育専修 国際平和学研究科
試 験 日	2020年1月13日(月)
出願期間	2019年11月4日(月)～11月15日(金)
合格発表	2020年1月17日(金) 11:00
入学手続期間	2020年2月20日(木)～2月27日(木)

※文学研究科国際言語教育専攻英語教育専修、国際平和学研究科は、試験日1週間前までに大学より通知があった方のみ試験日に面接を実施します。

#### 【一般入学試験 春学期（4月）入学 第Ⅲ期】

対 象	法学研究科 文学研究科（国際言語教育専攻英語教育専修を除く）
試 験 日	2020年2月11日(火)
出願期間	2019年12月11日(水)～2020年1月8日(水)
合格発表	2020年2月14日(金) 11:00
手続期間	2020年2月20日(木)～2月27日(木)

## < 2020年秋学期（9月）入学入試日程 >

### 【一般入学試験 秋学期（9月）入学 第Ⅰ期】

対 象	文学研究科 国際言語教育専攻 英語教育専修
試 験 日	2020年1月13日(月)
出願期間	2019年11月4日(月)～11月15日(金)
合格発表	2020年1月17日(金) 11:00
第1次手続期間	2020年2月20日(木)～2月27日(木)
第2次手続期間	2020年7月17日(金)～7月24日(金)

※試験日1週間前までに大学より通知があった方のみ試験日に面接を実施します。

### 【一般入学試験 秋学期（9月）入学 第Ⅱ期】

対 象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済学研究科 経済学専攻 国際ビジネス専修</li> <li>・文学研究科 国際言語教育専攻 日本語教育専修</li> </ul>
試 験 日	2020年2月11日(火)
出願期間	2019年12月11日(水)～2020年1月8日(水)
合格発表	2020年2月14日(金) 11:00
第1次手続期間	2020年2月20日(木)～2月27日(木)
第2次手続期間	2020年7月17日(金)～7月24日(金)

### 【一般入学試験 秋学期（9月）入学 第Ⅲ期】

対 象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済学研究科 経済学専攻 国際ビジネス専修</li> <li>・文学研究科 国際言語教育専攻 日本語教育専修</li> <li>・文学研究科 国際言語教育専攻 英語教育専修</li> </ul>
試 験 日	※2019年11月下旬に 大学院ホームページにて発表します
出願期間	
合格発表	
第1次手続期間	
第2次手続期間	

※文学研究科国際言語教育専攻英語教育専修は、試験日1週間前までに大学より通知があった方のみ試験日に面接を実施します。

### 3. その他

出願書類、選考試験科目等については、「Ⅲ 入学試験【共通事項】博士前期／修士課程」を参照して下さい。

### Ⅲ 学内選考・一般入学試験 【共通事項】 博士前期／修士課程

#### 1. 出願書類・検定料

(1) 入学願書	本学所定の用紙（A票①②・B票）を使用すること。
(2) 受験票・写真カード	本学所定の用紙（C票・D票）を使用すること。
(3) 推薦書 ※特別学内選考のみ	本学所定の用紙（E票）を使用すること。
(4) 成績証明書	出身大学で申請すること。 （本学在学学生は証明書自動発行機で発行ができます）
(5) 卒業（見込）証明書	出身大学で申請すること。 （本学在学学生は証明書自動発行機で発行ができます）
(6) 受験票送付封筒（定型長3封筒）	住所・氏名明記、362円分の切手を貼付すること。
(7) 合格者一覧送付封筒（定型長3封筒）	(6)と同様。（※送付を希望する場合のみ各自で用意）
(8) 検定料	33,000円。 振込用紙J票を使用し、銀行で振り込むこと。 振込金受領書[控]を、出願時に提出すること。

※ A票②の「修士論文題目」の欄は記入しなくてよい。

※ 法学研究科の「法曹の資格を現に有する者（司法試験に合格して司法修習を修了していない者を含む）」の適用を希望する者は、資格を証明する書類を提出すること。

※ 出願書類の記入方法について

・ 入学願書（A票①）の「受験科目」

⇒ 受験する科目名（選択の場合は、選択する科目名）を記入してください。

※ 国際言語教育専攻英語教育専修の出願者は、A票を全て英語で記入してください。尚、B票の提出は不要です。

#### 〔経済学研究科経済学専攻出願者へ〕 ※必須事項

- 経済学研究科の外国語試験は、英語能力証明書類（TOEFL、TOEIC、TOEIC-IP、IELTS）によって行われます。経済学研究科を志望する者は、出願時にこれらの書類を添付してください。
- 経済学専修・経営学専修は、TOEFL-iBT61+、TOEFL-PBT500+、TOEIC670+、IELTS4.5+以上の英語能力を有していることを出願条件とする。
- 国際ビジネス専修は、TOEFL-iBT80+または、IELTS6.0+以上の英語能力を有していることを出願条件とする。
- なお、英語を母語とする受験者は「高校、大学の卒業証明書」を提出すること。
- 経済学専修・経営学専修の日本国以外の国籍を有する受験者は、日本語能力証明書（日本語能力試験N2レベル以上の合格証明書）を提出すること。
- 経済学研究科の入学試験では、出願書類の「志望理由及び入学後の研究計画」（B票）が評価の対象となる。以下の項目を入れて記載すること。
  - ①志望理由 ②研究テーマ ③研究の背景 ④研究の方法

#### 〔国際言語教育専攻 英語教育専修出願者へ〕 ※必須事項

- 本人が作成した英語によるエッセイを出願書類として添付すること。テーマ等は以下の通り。
  - テーマ：How does this program help you achieve your overall professional goals as a language educator?

○ 分量：A4で4ページ以内。ダブルスペース（行間2行）とする。

※ 詳細は下記参照。

● Letters of Recommendation（2通）

※フォーマットは下記ウェブページよりダウンロードしてください。

<http://daigakuin.soka.ac.jp/tesol/app-forms.html>

※ 詳細は次頁参照。

● 英語能力証明書類（TOEFL-iBT もしくは IELTS。2年以内のもの）を出願書類として提出すること（コピーで可）。

なお、英語を母語とする方で英語能力証明書類のない方については、「高校、大学の卒業証明書」を添付すること。

上記の英語を母語とする方の考え方は以下の通り。

- 1) 幼少時から英語を習得した。
- 2) 日常生活において英語を主たる言語として使用する。
- 3) 英語の能力が一番優れている。
- 4) 英語において、文法、語彙、発音にわたり、また社会言語学的にも十分な能力を保持している。

### **International Language Education Program: TESOL - Personal Statement**

---

Please provide a personal statement describing your educational objectives. The personal statement gives you the opportunity to explain your reasons for pursuing graduate study and to express your thoughts clearly in an organized and focused way.

Please answer the following question regarding the Graduate Program in International Language Education: TESOL:

***How does this program help you achieve your overall professional goals as a language educator?***

You may wish to address:

- why you are applying for the International Language Education (ILE) program;
- how the ILE program will relate to your long-range career objectives;
- what personal or “non-academic” qualities you will contribute to the learning environment in this program;
- what your research interests in language education may be; and / or,
- what personal experiences have influenced your intellectual development and future goals with respect to the ILE program.

The personal statement should:

- include your name and a title;
- not exceed 1,000 words; and
- be typed double spaced (Times New Roman 12).

Please carefully revise and edit your statement as all qualities of good writing including organization, structure, grammar, and spelling will be considered.

## **International Language Education Program: TESOL – Letters of Recommendation**

---

Two letters of recommendation are requested of each applicant. These two letters should be provided by those able to attest to the applicant's:

- Abilities to successfully complete a rigorous graduate degree in an international context (delivered in an English-medium format); and,
- Potential as a future language educator.

Each letter of recommendation should:

- Include the contact information (email, address and telephone number) of the referee;
- Be completed on the form provided (additional pages can be included by the referee, on official institutional letterhead);
- Must be signed by the referee; and,
- Returned in a sealed envelope, signed across the seal, to the applicant to be included in the package of application materials delivered to the university.

## **International Language Education Program: TESOL – Interview**

---

Some applicants may be contacted for an interview. Interview requests will be sent one week prior to the requested interview date.

If an applicant is contacted for an interview, the interviews will be held on the Soka University campus in Hachioji, Tokyo, in the Global Square Building, on the specified dates above.

- Soka University administration will notify the applicant of the specific interview time.
- Applicants should plan to arrive a minimum of 20 minutes before their scheduled interview.
- Interview rooms will be announced at the entrance lobby of the Global Square. Building on the interview day.

Applicants living abroad can be interviewed via online technologies. In the case of interviews for applicants living abroad:

- Applicants will be contacted via email prior to the interview in order to organize necessary information (exchange of Skype IDs, etc.).
- It is the sole responsibility of the applicant to ensure that suitable technology is available in their country of residence to perform the interview.
- Video interviews are required in order to verify applicant identity.
- Scheduling of the interview time will be at the discretion of the ILE faculty, but every reasonable effort will be made to take into account time zone differences.

〔国際平和学研究科 国際平和学専攻出願者へ〕 ※必須事項

- 本人が作成した英語によるエッセイを出願書類として添付すること。テーマ等は以下の通り。
  - テーマ：How does this program help you achieve your overall professional goals?
  - 分量：A4で4ページ以内。ダブルスペース（行間2行）とする。※ 詳細は下記参照。
  
- Letters of Recommendation（2通）  
※フォーマットは下記ウェブページよりダウンロードしてください。  
[https://www.soka.ac.jp/en/admissions/application/graduate\\_policy/grad-let-p/](https://www.soka.ac.jp/en/admissions/application/graduate_policy/grad-let-p/)  
※ 詳細は次頁参照。
  
- 英語能力証明書類（TOEFL-iBT もしくは IELTS。2年以内のもの）を出願書類として提出すること（コピーで可）。

【合否結果発表について】

国際平和学研究科の判定結果は、以下3項目で発表します。

- ・合格・・・・・・・・・・翌4月から大学院への入学を許可する。
- ・条件付き合格・・・・12月末日までに所定の条件を満たした者は入学を許可する。  
※学内選考試験および一般（第Ⅰ期）入試で実施する。一般（第Ⅱ期）入試は実施しない。
- ・不合格・・・・・・・・・・審査の結果、合格基準に達していない。

**School of International Peace Studies - Personal Statement**

---

Please provide a personal statement describing your educational objectives. The personal statement gives you the opportunity to explain your reasons for pursuing graduate study and to express your thoughts clearly in an organized and focused way.

Please answer the following question regarding the School of International Peace Studies:

***How does this program help you achieve  
your overall professional goals?***

You may wish to address:

- Why you are applying for the School of International Peace Studies;
- How the School of International Peace Studies will relate to your long-range career objectives;
- What personal or “non-academic” qualities you will contribute to the learning environment in this program;
- What your research interests in International Peace Studies may be; and / or,
- What personal experiences have influenced your intellectual development and future goals with respect to the School of International Peace Studies.

The personal statement should:

- include your name and a title;

- not exceed 1,000 words; and
- be typed double spaced (Times New Roman 12).

Please carefully revise and edit your statement as all qualities of good writing including organization, structure, grammar, and spelling will be considered.

### **School of International Peace Studies – Letters of Recommendation**

---

Two letters of recommendation are requested of each applicant. These two letters should be provided by those able to attest to the applicant's abilities to successfully complete a rigorous graduate degree in an international context (delivered in an English-medium format).

Each letter of recommendation should:

- Include the contact information (email, address and telephone number) of the referee;
- Be completed on the form provided (additional pages can be included by the referee, on official institutional letterhead);
- Must be signed by the referee; and,
- Returned in a sealed envelope, signed across the seal, to the applicant to be included in the package of application materials delivered to the university.

### **School of International Peace Studies – Interview**

---

Some applicants may be contacted for an interview. Interview requests will be sent one week prior to the requested interview date.

If an applicant is contacted for an interview, the applicant is asked to choose one from the two options:

1. Taking interview on the Soka University campus in Hachioji, Tokyo, on the specified dates above.

- Soka University administration will notify the applicant of the specific interview time.
- Applicants should plan to arrive a minimum of 20 minutes before their scheduled interview.
- Interview rooms will be announced at the entrance lobby of the Global Square Building on the interview day.

2. Taking interview via online technologies, on the specified dates above.

- It is the sole responsibility of the applicant to ensure that suitable technology is available in their country of residence to perform the interview.
- Video interviews are required in order to verify applicant identity.
- Scheduling of the interview time will be at the discretion of the interviewers, but every reasonable effort will be made to take into account time zone differences.

## 2. 選考試験科目・時間帯

### ●経済学研究科 経済学専攻

専修名	試験科目			試験時間
	科目群	選択方法	科目名	
経済学専修	外国語	—	書類審査（英語能力証明書類）	—
	専門科目	出願時に 2科目選択	ミクロ経済学、マクロ経済学、計量経済学・統計学、経済数学、経済史、開発経済学。 上記から2科目選択した科目で4題出題（各科目2題）して3題必答。	13：00～ 14：30
	面接	—	面接	15：00～
経営学専修	外国語	—	書類審査（英語能力証明書類）	—
	専門科目	出願時に 1科目選択	経営学、経営戦略論、人的資源管理論、 ビジネス・エコノミクス、経営情報、財 務会計、管理会計。 上記から1科目選択した科目で2題出 題。	左記 4題 のうち 3題 解
		—	『経営学の基本』（中央経済社）から2題 出題	
	面接	—	面接	15：00～
国際ビジネス専修	外国語	—	書類審査（英語能力証明書類）	—
	口述試験	—	口述試験（※英語で実施します。）	15：30～

※ 「特別学内選考試験」の出願者は、面接試験のみを行う。

※ 専門科目の出題範囲（テキストや項目）は別掲参照。

※ 国際ビジネス専修は、秋学期（9月）入学入試のみ実施。口述試験は英語で実施します。

●法学研究科 法律学専攻

専修名	試験科目			試験時間
	科目群	選択方法	科目名	
—	専門科目	出願時に 1科目選択	<p>●法学（総論）（試験範囲は以下の通り） ①法の特質・機能 ②法秩序の構造 ③法源 ④法律学の任務と特質 ⑤裁判と法の適用 ⑥法の解釈 ⑦法と道徳 ⑧法と正義 ⑨法と効力 ⑩権利と義務</p> <p>●政治学（試験範囲は以下の通り） ①政治学原論 ②政治学史（近代政治思想史） ③政治史（近代ヨーロッパ政治史） ④国際政治論 ※政治学は上記①～④の各領域からそれぞれ1 問出題するので、その4問の中から1問を選択、 解答する。</p>	13：00～ 14：00
	面接	—	面接	14：30～

※「特別学内選考試験」の出願者は、面接試験のみを行う。

※「法曹資格を現に有する者の特別措置（司法試験に合格して司法修習を修了していない者を含む）」の対象者は、筆記試験を免除する。

●文学研究科 英文学専攻

専修名	試験科目			試験時間
	科目群	選択方法	科目名	
英語英米文学 専修	外国語	—	英語	10：30～ 12：00
	専門科目	①、②とも 出願時に 選択	以下の①～②全てを解答する。 ①専門的な英語問題（イギリス文学、アメリカ文学、英語学から1科目選択） ②イギリス文学、アメリカ文学、英語学のうちから1科目選択	13：00～ 14：30
	面接	—	面接	15：00～

※ 次の成績または資格所持者については、出願時の申請により外国語の「英語」を免除することができる。（証明書のコピーを添付すること）

- ・ TOEFL PBT550 点以上、CBT213 点以上、iBT80 点以上のいずれかを獲得
- ・ TOEIC 730 点以上獲得
- ・ IELTS 6.0 以上
- ・ 実用英語技能検定（日本英語検定協会）準1級以上合格
- ・ 国際連合公用語検定・英語検定試験 A 級以上合格

※ 出願書類 A 票の専門科目欄に専門科目①、②から選択した 1 科目を記入すること。

※ 専門科目①、②の出題範囲

イギリス文学、アメリカ文学： 作家論、作品論を含む英米文学史  
英語学： 英語史、英文法、英語音声学

※ 出願時に、自分の興味・研究テーマに近い分野の教員と連絡を取ること。  
（入試窓口を通じて連絡を取ってください。）

●文学研究科 社会学専攻

専修名	試験科目			試験時間
	科目群	選択方法	科目名	
グローバル・スタディーズ専修	外国語	出願時に選択	英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語のうちから1言語を選択。(辞書使用不可)	10:30～ 12:00
	専門科目		以下の①②を解答する。 ①共通問題 ②選択問題(受験者の研究希望分野を考慮して出題する)	13:00～ 14:30
	面接	—	面接	15:00～

※ 外国人には、外国語の試験を課さない。

※ 社会人には、外国語の試験を課さない。(社会人の定義：出願の段階で、4年生大学卒業後満4年以上経過している人)

【社会学専攻出題参考図書】

下記の文献は、社会学専攻をめざす場合の必読書である。文献 a. は専攻全体で共通かつ基本となる。原著は英語レベルの基準となる。b. 以下は各専門領域の基本となる。

- a. アンソニー・ギデنز『社会学』第5版、而立書房、2009年 (Anthony Giddens, Sociology, 5th edition, Polity Press, 2006)。
- b. 大梶俊夫他著『社会学のプロフィール』八千代出版、1997年。
- c. 園田恭一・西村昌記編著『ソーシャル・インクルージョンの社会福祉』ミネルヴァ書房、2008年。
- d. 羽場久美子他編『21世紀国際社会への招待』有斐閣ブックス、2003年。
- e. 棚次正和・山中弘編著『宗教学入門』ミネルヴァ書房、2005年。
- f. 栗生沢猛夫『図説ロシアの歴史』河出書房新社、2010年。

●文学研究科 教育学専攻

専修名	試験科目			試験時間
	科目群	選択方法	科目名	
教育学専修	外国語	—	英語（辞書を貸与する）	10：30～ 12：00
	専門科目	—	教育学	13：00～ 14：30
	面接	—	面接	15：00～
臨床心理学 専修	外国語	—	英語（辞書を貸与する）	10：30～ 12：00
	専門科目	—	臨床・発達・教育心理学	13：00～ 14：30
	面接	—	面接	15：30～

※ 外国人には、外国語の試験を課さない。

※ 臨床心理学専修を受験する者は、学部の時に心理学系の科目を履修しておくことが望ましい。

※ 教育学専修を受験する社会人には外国語の試験を課さない。（社会人の定義：出願の段階で、4年生大学卒業後満4年以上経過している人）

※ 臨床心理学専修を受験する社会人には、外国語を課さない。（社会人の定義：出願の段階で、4年生大学卒業後満5年以上経過している人。ただし、卒業後5年未満であっても、27歳以上で職歴が5年以上ある人が、所定の出願書類に加えて、[出願資格認定申請書](G票)、[出願資格認定申請理由書](H票)を提出した場合、書類審査の後に「社会人」として認める場合がある）

●文学研究科 人文学専攻

専修名	試験科目			試験時間
	科目群	選択方法	科目名	
哲学歴史学専修	外国語	出願時に選択	英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語のうちから1言語を選択。 (辞書使用不可)	10:30～ 12:00
日本文学 日本語学専修	専門科目	出願時に入学後の専修を選択	以下の①②を解答する。 ①専修共通問題 ②選択問題(受験者の研究希望分野を考慮して出題する)	13:00～ 14:30
仏教学専修	面接	—	面接	15:00～

※ 外国人には、外国語の試験を課さない。

※ 社会人には、外国語の試験を課さない。(社会人の定義：出願の段階で、4年生大学卒業後満4年以上経過している人)

●文学研究科 国際言語教育専攻

専修名	試験科目			試験時間
	科目群	選択方法	科目名	
日本語教育専修	外国語	出願時に選択	日本語を母語とする者は英語、中国語、ハンガール、ドイツ語、フランス語、ロシア語、スペイン語のうちから1言語選択 日本語を母語としない者は日本語 (辞書使用不可)	10:30～ 12:00
	専門科目	—	日本語学・日本語教育に関する問題	13:00～ 14:30
	面接	—	面接	15:30～
英語教育専修	書類審査	—	エッセイ・英語能力証明書類・推薦書 ※面接を行うことがある。その場合は、試験日1週間前までに通知する。	—

●国際平和学研究所 国際平和学専攻

専修名	試験科目			試験時間
	科目群	選択方法	科目名	
—	書類審査	—	エッセイ・推薦書・成績証明書 ※面接を行うことがある。その場合は、試験日 1週間前までに通知する。	—

## ◆ 経済学研究科 専門科目 出題範囲

### 経済学専修

#### ○ミクロ経済学

##### 【テキスト】

ハル・R・ヴァリアン『入門ミクロ経済学』（原書第7版）勁草書房 2007年 あるいは西村和雄『ミクロ経済学入門』（第二版）岩波書店

##### 【出題項目（試験範囲）】

市場 予算制約 選好 効用 選択 需要 スルツキー方程式 売買 異時点間の選択 不確実性 消費者余剰 市場需要 均衡 技術 利潤最大化 費用最小化 費用曲線 企業の供給 産業の供給 独占 独占的行動 要素市場 寡占 交換 生産 厚生 外部性 公共財 非対称情報

#### ○マクロ経済学

##### 【テキスト】

グレゴリー・マンキュー、『マクロ経済学 I』の全章とおよび『マクロ経済学 II』の第1, 2および8章、東洋経済新報社

##### 【出題項目（試験範囲）】

国民所得会計 物価指数 消費関数 投資関数 貨幣需要 長期均衡 乗数理論 IS-LM 理論 総需要曲線 総供給曲線 マンデル＝フレミング理論 ソロー成長モデル 実物景気循環理論

#### ○計量経済学・統計学

##### 【テキスト】

統計学 森棟公夫『統計学入門』新世社、計量経済学 山本拓『計量経済学』新世社

##### 【出題項目（試験範囲）】

データの整理 確率 確率変数とその分布 母数の推定 仮説検定 単回帰 重回帰 最小2乗法 ガウス＝マルコフの定理 系列相関 不均一分散

#### ○経済史

##### ・西洋経済史

##### 【テキスト】

I. ウォーラーステイン『近代世界システム 1600-1750』川北稔訳 名古屋大学出版会 1993年、E.L. ジョーンズ『経済成長の世界史』天野雅敏他訳 名古屋大学出版会 2007年

##### 【出題項目（試験範囲）】

市場経済の発展 世界システム 産業革命 経済成長

##### ・日本経済史

##### 【テキスト】

梅村又次他編『日本経済史』全8巻（岩波書店、1988年-90年）の各巻の「概説」

【出題項目（試験範囲）】

経済社会の成立 近代経済成長の始原 近代日本の工業化 日本経済における村と町と都市

○開発経済学

【テキスト】

トダロ=スミス著『トダロとスミスの開発経済学(原著第10判)』（2010年）ピアソン桐原発行

【出題項目（試験範囲）】

開発とは何を意味するのか（第1章） 開発途上国の特徴（第2章） 購買力平価レート（第2章） 人間開発指標（HDI）（第2章） 開発の差異が生じた長期的原因（第2章） ロストウの成長段階論（第3章） ハロッド=ドーマーの成長モデル（第3章） ルイスの2部門モデル（第3章） 貧困ギャップ指数（第3章） 貧困層の経済的特性（第5章） 人口移動と都市化のジレンマ（第7章） ハリス=トダロの人口移動モデル（第7章） 輸入代替工業化戦略とその結果（第12章） 輸出志向工業化戦略（第12章） BOP ビジネス（テキスト外）

○経済数学

【テキスト】

立石 寛・武藤 功『経済数学への招待』勁草書房、1994年

【出題項目（試験範囲）】

集合と関数 連続関数 関数とグラフ ベクトル 行列 行列式 連立一次方程式の解法 固有値と固有ベクトル 微分 偏微分 逆関数の定理と陰関数の定理 極大・極小とラグランジュ未定乗数法 積分 多変数関数の積分 広義積分 線形常微分方程式

**経営学専修**

○経営学

企業の諸形態 企業と社会（企業の社会的責任、企業倫理、環境経営、ステークホルダー）  
コーポレート・ガバナンス（日本、アメリカ） 経営管理の理論と組織 経営の国際化と情報化  
日本的経営と日本型企业システム

○経営戦略論

競争戦略と競争要因 SWOT分析とポジショニング インターネットビジネス 日本企業の競争戦略  
アウトソーシング

○人的資源管理論

戦略的人的資源管理 雇用管理（採用・配置・異動・退職） 人事評価と昇進・昇格（職能資格制度を含む） リーダーシップとモチベーション 人的資源開発 職場の健康と安全

○ビジネス・エコノミクス

【テキスト】

丸山雅祥『経営の経済学』（新版）有斐閣、2011年

【出題項目（試験範囲）】

市場構造、ゲームと戦略、競争戦略、価格戦略、製品戦略、流通と販売促進、サプライチェーン、プラットフォーム、情報とインセンティブ、企業の境界と組織

○経営情報

経営分析 統計解析 企業におけるシステム設計

○財務会計

企業会計原則と企業会計基準、資産の会計、収益と費用の認識及び測定、キャッシュフロー計算書、外貨建取引等の会計、連結財務諸表

○管理会計

経営戦略支援の管理会計・・・事業価値の測定と管理 セグメント会計（M&A会計 社外分社とグループ経営を含む） バランスト・スコアカード  
マネジメントコントロールの管理会計・・・構造的個別計画（投資の経済性分析）と業務的個別計画（特殊原価概念を含む） 社内分社（事業部・カンパニーなど）の分権的利益管理と資金管理（中長期と短期の総合計画） 予算管理と原価管理（原価企画と原価改善 ABC/ABM）